

2017年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2018年3月20日(火)18:00～19:02

場所：聖路加国際大学 1階 大会議室

議長：片岡弥恵子(委員長)

出席委員：片岡弥恵子、鶴若麻理、小野若菜子、小林京子、縄秀志、高橋奈津子、松井陽、墨岡亮、
鐘ヶ江真知恵、神里彩子

欠席委員：宮坂勝之、中村めぐみ

(出席者 10人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 猪飼 やす子(老年看護学 博士)

「特発性肺線維症をもつ人々への「Dignity-Centered Care プログラム(DIGNITY-IPF)」の混合研究方法による評価」

研究責任者(猪飼 やす子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
17-A093	東日本大震災後の復旧・復興期に支援活動を行う精神保健専門職の支援活動に対する認識の変化-アクションリサーチを用いて-	精神看護学	博士	大橋 明子
17-A091	HPVワクチンに対する保護者の意識調査	看護学	助教授	齋藤 あや
17-A094	地域特性に応じた保健活動推進 ガイドラインの開発-地区活動実態調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原きよみ
17-A095	難治性統合失調症患者に対する訪問看護のケア内容調査	精神看護学	助教	福島 鏡
17-A096	外来で経口抗がん剤治療を行う高齢消化器がん患者が抱く困難と支援ニーズ	がん看護学・緩和ケア	博士	小山 美樹
17-A097	集中治療従事者における倫理的苦悩に関する研究	急性期看護学	准教授	宇都宮 明美
17-A098	漢方医学を学んだ看護師の看護実践の体験	在宅看護学	博士後期課程	江口優子
17-A100	河南省慢性心不全患者のヘルスリテラシーと生活の質の関連	国際看護学	修士	張 俊華

3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	16-A076	仕事復帰後の母乳育児継続を目的とした出産後の女性に対するプログラムの評価	助産学	博士	中田 かおり
変更申請	16-A080	精神科訪問看護における当事者のリハビリテーションに関連した体験についての研究	精神看護学	教授	萱間 真美
変更申請	17-A011	看護学というセカンドキャリア形成に関する教育・学習評価のコホート調査	助産学	教授	堀内 成子
変更申請	17-A026	今なお保健師であり続けているということ-児童虐待事例を担当した保健師の体験-	公衆衛生看護学	博士	江川 優子
変更申請	17-A027	Evaluation of the Behavior Change of Midwives After Introducing Early Essential Newborn Care at an Urban Tanzanian Healthcare Facility	助産学	修士	福富 理佳
変更申請	17-A034	分娩期における実地指導者が新人助産師の気づきと解釈を促進する教育	助産学	修士	山本 真実
変更申請	17-A037	企業において定年年齢到達後も就労を継続している 60 歳以上男性の働くことの意味	公衆衛生看護学	修士	原田 若奈
変更申請	17-A049	発達障害児をもつ母親の子育ての経験-就学移行期におけるよりよい支援に向けて-	公衆衛生看護学	修士	藤川 真梨
変更申請	17-A059	定年退職した男性の自主グループへの参加の経緯と参加後の変化	公衆衛生看護学	修士	鈴木 良実
変更申請	17-A061	1 歳 6 か月健康診査における日本に暮らす外国人への保健師の支援	公衆衛生看護学	修士	藤富 絵里香
変更申請	17-A065	産業看護職による職場環境改善活動:活動を推進する技法に関するインタビュー調査	公衆衛生看護学	修士	岩井 杏純
変更申請	17-A074	Oxygen Reserve Index(ORI™)からみた Preoxygenation の達成度:健常ボランティアでのパイロット研究	周麻酔期看護学	修士	田中 菜奈子
終了報告	16-A022	幼児の皮膚バリア機能を入院中の心理・生理的アセスメント指標に応用するための先駆的研究	小児看護学	准教授	小野 智美
終了報告	17-A007	Effects of Maternal Secondhand Smoke on the Health of Maternal and Perinatal Outcomes in Tomohon city, North Sulawesi, Indonesia	国際看護学	修士	鈴木 大地
終了報告	17-A008	呼吸ケアチーム活動に対する停滞感の現状と対処	急性期看護学	修士	小松崎 朗子
終了報告	17-A020	入退院を繰り返す精神障害者が地域の定住場所へ抱く想い	精神看護学	修士	高妻 美樹
終了報告	17-A025	PICS 発症高リスク患者に対する、ICU 看護師のケアの実際と認識	急性期看護学	修士	鎌田 未来
終了報告	17-A029	集中治療室に入室した慢性心不全患者に対する看護師の意思決定支援の現状	急性期看護学	修士	瀧 洋子
終了報告	17-A030	キャリア・ミスから方向性を見出した中堅看護師の経験	看護管理学	修士	上野 亜由実
終了報告	17-A032	心臓血管外科術前看護外来で急性・重症患者看護専門看護師が行うリスクコントロールの為のセルフケア獲得の患者支援	急性期看護学	修士	山本 茉利

終了報告	17-A036	看護小規模多機能型居宅介護事業所において提供される看護実践の構成要素	看護管理学	修士	角田 侑子
終了報告	17-A037	企業において定年年齢到達後も就労を継続している 60 歳以上男性の働くことの意味	公衆衛生看護学	修士	原田 若奈
終了報告	17-A040	退院後訪問指導料等が中央社会保険医療協議会で採択されるまでの政策決定プロセス	看護管理学	修士	山本美穂
終了報告	17-A045	看護師長会議における看護師長の認識と参画行動	看護管理学	修士	横山 映理子
終了報告	17-A059	退職した高齢男性の自主グループへの参加の経緯と参加後の意識と行動の変化	公衆衛生看護学	修士	鈴木 良実

4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、倫理審査システム移行中の審査について説明があった。
- ③ 委員長より、1月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ④ 事務局より、2018年度 大学 研究倫理審査委員会の日程表が配布され、日程に関しての連絡があった。

5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018年4月17日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。